いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です ふたたび

No.１９８
２０２４（令和６）年１月１２日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

決めていたのです。新年になったら、その時の新鮮な気持ちで文章を書こうと。それが･･･。

前を向く　しっかりと

１日。家族とサッカー日本代表のタイ代表戦中継を見終わってすぐでした。TV で、携帯電話で緊急地震速報のけたたましい通知。驚きました。

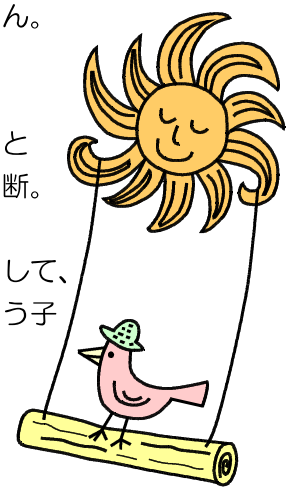
そして２日。震災に関わる報道を見ていたところに入って来た羽田空港での航空機事故の映像。身につまされました。

あの東日本大震災の時、私は奥尻で勤務でした。同僚は宮古市出身でした。ちょうど子どもたちを下校させた後で、職員で手分けして、家に着いているか確認をしました。教頭さんは、宮古近辺のご家族と連絡が取れないのを我慢して仕事をされていました。あの感覚は忘れられません。

今回の航空機事故。日航機の出発地は新千歳でした。今はもうほとんどの友人が現場を退いているのではないかと思いますが、私も千歳出身なので、多くの友人が航空会社や空港で仕事をしていました。新千歳でさえ、混雑時には数分に一便の割合で離発着があります。千歳の空を見上げるとだいたい一機は目に入る覚えがあります。決して人ごとではありません。

自然災害の怖さとヒューマンエラーの怖さ。

それでも、そのような時でも最善を尽くし、被害を最小限に食い止めようとする人々がいて胸を打ちます。シミュレーション、訓練の重要性と実行の決断。



改めて２０２４年。令和６年。私の仕事は教育のプロ、教育行政のプロとして、誰一人不幸にはしないぞと。いじめや不登校、本当はこうしたいのに、という子は出さないぞ、と。

前を向く。今は辛くとも。陽はまた昇る、です。

自分ならできることを。そう考え頑張ります。



先日、外出先の小樽で大雪に遭遇しました。

駐車場では車を掘り起こす人々。既にスタックしてしまった人も。

私の隣のレンタカーの男女も、スノーブラシで空回りするタイヤの雪を取り除こうとしているところでした。車には「外国人の方が運転しています」というマグネットシート。話されている言葉は中国語でした。

自分の車をまずは移動しスペースを空け、トランクからスノーヘルパーを取り出して、駐車場の方と一緒に二度三度、車を押すと無事脱出できました。ヘルパーを戻しに来た女性は「アリガトウ」と日本語で。

腹ばいになったのでべちゃべちゃになりましたが、とても清々しい朝になりました。少しでも友好になったら良いですが･･･。まあ、それはいいか･･･。なんか良かった。